

校長の自慢 『羽ばたけ！エコ部』

早朝からの清掃、プランターへの水やり、廊下清掃、教室への花の飾り付け、畑作り、そして最近では、毎週の校外清掃、環境フェスタ、ユネスコ会議参加、小学校への出前授業、外国視察団のおもてなしなど外部との交流にも力点を置いているのがエコ・コミュニケーション部（通称エコ部）です。

エコ部の活動は、4年前から始まりました。たった3名から始めた活動が、技師の畠中さんの支えもあり今では、3年生は1人、2年生は10人、そして1年生は9人の20人の大所帯です。現役生だけではなく、OBも一緒に活動し、後輩の指導に当たってくれています。

羽ばたくエコ部の活躍を少し報告します。

エコ部は、昨年からは毎週月曜日には校外の清掃活動を行っています。学校周辺がきれいになることはもちろん、地域の方々から「こんにちは」「きれいにしてくれありがとうございます」という声を掛けていただくことも生徒の活動の意欲につながっているようです。この活動については、西田西淀川区長とのタウンミーティングにおいて、部員たちが直接伝えています。

本校主催の地域交流の場でもある「環境フェスタ」。企画運営の中心はエコ部です。参加した小学生に、紙芝居を使って廃油回収活動をていねいに説明もしています。その効果もあり、本校では廃油回収量が多いとお褒めもいただいています。

また、本校のユネスコスクールの代表として、府立大学や岡山大学でのミーティングに参加し、本校の環境活動や環境教育について語り、その意義や必要性について体験を踏まえて、熱意を持って伝えてくれています。

出来島小学校へは、出前授業にも出かけました。小学3年生を相手に西淀川の公害問題について説明した後、紙パックを使ったエコな「竹とんぼ」の作成を指導しました。とてもいいお兄さん・お姉さんとして、小学生に関わっていました。

また、先日 ASEAN9 各国からの訪問を受けました。対応に当たるのはエコ部。本校の環境活動や環境教育、生徒の清掃ボランティア、エコ部の活動などを説明したところ、大きな関心を持って本校に視察に来られた ASEAN の方々から、質問の嵐にあっていました。質問内容は多岐に渡り、発展途上国として、自然環境を守るためにどんなことに気をつければよいかという質問には、メンバーの一人が「ゴミを拾うなど身近なことから始めることが大切」と答えていました。

今日も清掃しながら、さわやかに「おはようございます」と迎えてくれるエコ部。もっと多くの皆さんが参加し、更に羽ばたくことを願ってやみません。

